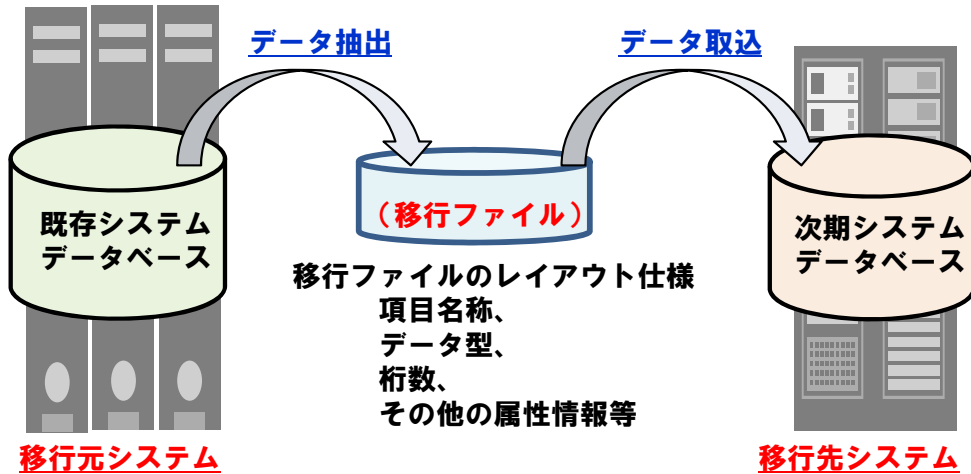


# 中間標準レイアウト仕様

## 中間標準レイアウト仕様とは

- 市区町村の情報システム更改においてデータ移行を円滑に行うため、移行データの項目名称、データ型、桁数、その他の属性情報等を標準的な形式として定めた移行ファイルのレイアウト仕様。

《中間標準レイアウト仕様を利用したデータ移行イメージ》



- ・平成24年6月V1.0総務省から公開
- ・平成27年5月V2.1総務省から公開
- ・平成29年4月V2.3総務省から公開
- ・平成31年4月V2.5総務省から公開
- ・平成26年4月V2.0総務省から公開
- ・平成28年4月V2.2総務省から公開
- ・平成30年4月V2.4総務省から公開
- ・令和2年5月V2.6総務省から公開

※J-LISが、平成25年4月(当時はLASDEC)から維持管理を担当

- 中間標準レイアウト仕様の対象業務システム (27業務)

- |            |                     |
|------------|---------------------|
| 1. 住民基本台帳  | 15. 後期高齢者医療         |
| 2. 印鑑登録    | 16. 健康管理            |
| 3. 住登外管理   | 17. 児童手当            |
| 4. 戸籍      | 18. 生活保護            |
| 5. 就学      | 19. 障害者福祉           |
| 6. 選挙人名簿管理 | 20. 財務会計            |
| 7. 固定資産税   | 21. 人事給与            |
| 8. 個人住民税   | 22. 文書管理            |
| 9. 法人住民税   | 23. 子ども・子育て支援       |
| 10. 軽自動車税  |                     |
| 11. 収滞納管理  | 31. 住民基本台帳 (コンビニ交付) |
| 12. 国民健康保険 | 32. 印鑑登録 (コンビニ交付)   |
| 13. 国民年金   | 33. 個人住民税 (コンビニ交付)  |
| 14. 介護保険   | 34. 収滞納管理 (コンビニ交付)  |

## 中間標準レイアウト仕様のメリット

- 多額のデータ移行費用を原因とするベンダーロックインの解消が可能。
- 自治体クラウドの推進に際しても、異なるベンダー間でのシステム更改におけるデータ移行費の削減、また、将来的なデータ移行費の削減が可能。